

建設業は3.2%増

23年夏季ボーナス

厚生労働省は7日、建設業の2023年夏季賞与（ボーナス）の調査結果を公表した。1人当たりの平均額は前年比3・2%増の54万0695円。全16産業で7番目の水準で、全産業

平均（39万7129円）よりも14万円以上高かった。前年からの増減率は全産業平均（2・0%増）を1・2%上回った。

5人以上が働く事務所を対象に調査。6～8月の「特別に支払われた給与」のうち、賞与として支給された給与を特別集計した。

建設業では、ボーナスを支給した事業者数が事業所総数に占める割合を示す「支給事業所数割合」が前年よりも1・3%高い67・8%（全産業平均66・8%）となった。ボーナスを支給した事業所の常用労働者数が常用労働者総数に占める割合を示す「支給事業所に雇用される労働者の割合」は0・3%上昇の78・1%（80・0%）。毎月の定額給与に対するボーナスの割合を示す「決まって支給する給与に対する支給割合（支給月数）」は、0・03カ月多い1・12カ月（1・01カ月）だった。

